

2024年度 浜田地区連絡会 総合事故対応訓練

浜田医療センター DMAT

診療部長（消化器内科） 古田 晃一朗
副看護師長 當田 晶子
診療看護師 平木 達也
医事専門職 地田 浩二

12月6日にJR、浜田警察署、浜田市消防本部、浜田市など複数機関による訓練があり、浜田医療センターはDMATとして、附属看護学校の学生は患者役として参加しました。

出動までの準備

列車内に刃物を持つ男性と多数傷病者が発生という情報から、外傷に対応する医療資器材を準備し安全のためヘルメットや安全靴を身に付けました。

出動

医師1名、看護師2名、業務調整員1名が出動しました。現場到着後、消防現場指揮所に到着を報告、指揮命令系統や活動内容を確認して業務調整員は消防現場指揮所に残り、医師、看護師は列車へ向かいました。

現場活動

事故は1両目で発生、私達は2両目の車両に乗り込みました。消防職員がトリアージした傷病者が次々と搬送されます。平時とは異なる環境で医療処置を行いました。処置を受けた傷病者は医師の判断のもと消防職員により速やかに列車外へ搬送されました。

訓練を通して

各機関が専門性を発揮しながら協働する大切さに気付きました。私達は医療提供や医学的判断を求められており、DMATが現場に出る意義を再認識しました。他機関との情報共有、役割分担が重要ですが訓練でその難しさを体験出来ました。

まとめ

当院は浜田駅と連結しJR山陰本線がすぐそばを通っています。有事の際には今回の訓練が役立つと考えます。今後も、積極的に訓練に参加し、顔の見える関係を作りながら研鑽したいと思います。

